

グループホームこまば 木もれ陽

「その人らしい生活」を支援

令和6年7月発行 [第25号]

三浦ホーム長の マイファミリー



令和6年度が始まり3ヶ月余り経ちました。今年度は相良ホーム長が法人内の養護老人ホームに異動となり、私、三浦が後任としてホーム長を務めさせて頂いています。どうぞ、宜しくお願い致します。

私は、15年前に駒場苑グループ内の“デイサロンこまば”に入職し、5年間相談員業務を行った後、“グループホームこまば”に異動になりました。

この10年間に、ご入居様と一緒に調理等を行ない、包丁の使い方から鍋の干し方など、たくさんの事を学ばせて頂いています。また、我が家ではもう行わなくなった四季折々の行事も、ホームでご入居様と一緒に行ない、私自身も日本の文化を再認識して楽しませて頂いています。

このような活動が出来たのもご家族様のご理解とご協力があったからです。有難うございます。これからもご家族様には、ご実家に入居するようなお気持ちでお気軽にお母様に会いに来て頂きたいです。また、私たちに足りないところがあれば教えて頂きたいと思います。ご入居様の『その人らしい生活』をご家族様と職員全員で支援をしていきましょう。

職員一同、一生懸命に努力しますので、ご協力をお願いします。

みうら ちづえ
ホーム長 三浦 智津江

～初夏の息吹を感じて～

季節が移ろい、若葉が芽吹き鮮やかな花々が次から次へと咲き乱れています。生命の躍動を感じながら外気浴を楽しむご利用者の表情は、とても生き生きとしています。冬の寒さに散歩の誘いを渋っていた方も笑顔が絶えません。



～暮らしの中での居場所づくり～

日々の家事を行なうだけでなく、お互いに声を掛け合い関わりを深めながら、グループホームこまばを自分の大事な居場所と感じてくれたら嬉しいです。



職員インタビュー

こまばのこの人

○介護を始めたきっかけは？

PTA 仲間からグループホーム立ち上げの話があり短時間でも良いので来てみないかと誘われ、子育て中でもできるかと思い“おばあちゃんたちの茶飲み相手”といった浅はかな認識で飛び込みました。

かわせみ みさこ
川添美沙子
令和5年12月入職



○今まで、どんな活動を？

入ってみたらてんやわんや…カオスな環境に戸惑いふりまわされながらも、みんなで作っていく毎日がおもしろく気づけば12年が経っていました。そして出会ったお年寄り一人一人の生き方、死に方を通して五感で介護を学び実感してきた思いがあります。

○介護の楽しさってなんですか？

あーでもない、こーでもないのやりとり、お互いのかけひき…そこから思いもよらない結果に出会えた瞬間がたまらなく楽しいです。

○難しいところは？

制度や基準、根拠から一人一人が違う価値観を持つ生活者としてのふつうの暮らしを守っていくことに困難を感じる場合があります。介護という広い概念から価値観の違いが対立を生むことがあります。難しさを感じることもあります。

○「グループホームこまば」に来てどうですか？

その人が主役の毎日を送れるように考える支援が嬉しいです。ご利用者のこれまでの長い人生で培われた“その人らしさ”は誰かのために何かの役割をこなしている時、そのことを行なっている時間から生まれ、深まり、認知症になっても消失することはないのだと実感する毎日です。

○今、取り組んでいること

一人一人の持つペース、時間を大切に守りたい。その方の思いを受け止め、思いを巡らせ想像しながら対話をし関係を積み重ねていきたい。そんな思いで日々取り組んでいます。

○やりたいこと

“これが絶対に正しい”と言われる多数派の意見にも疑問や別視点を持ち、自分の感じ方を探り、考えることのできる少数派でいたいという企みもあります。

○介護を始めたきっかけは？

私が祖母っ子で、少年時代、父方の祖母（兵庫県）が自宅から特養に入ったのを見ていたのと、母親がホームヘルパーの仕事をしているのを見ていて自分も介護をやりたいと 思っていました。今は母方の祖母（岡山県）が健在で、母親が手伝いに年に3~4回岡山に帰っており、今後自分も何か手伝えることがないだろうか、と考えたのがきっかけです。

みやくさかずひろ
宮艸一裕
令和6年4月異動



○今まで、どのような活動を？

2009年に大学を卒業後、駒場苑グループの特養に入職して、介護職員として14年半勤務していました。昨年秋、年に一回参加しているフルマラソンで完走した後、変形性股関節症を患ったのをきっかけに、ケアマネジャー兼介護職員として今年度からグループホームこまばに異動しました。

○介護の楽しさってなんですか？

お手伝いすると「ありがとう」と言われるところや、ご利用者から生活の知恵や方法を教えてもらい、世間話だけでなく生い立ちや悩みも話してくれるところが楽しいです。

○難しいところは？

ご利用者の様子、身体の状態、やりたいことが日々変化するのでそれに応じて支援していくところが難しいです。また、慣れてきたと思ったら、すぐに新しい課題や反省点が出てくるところも難しいですが、やりがいを感じます。

○グループホームこまばに来てどうですか？

特養での勤務が長かったので、ご利用者の活動的なところと、グループホームの穏やかでまったりとした雰囲気は驚いています。料理や洗濯など慣れないことも多く、ご利用者と職員の皆さんに教えてもらうことばかりです。

○今、取り組んでいることは？

股関節のリハビリ、料理の練習、趣味活動（高校野球観戦・鉄道旅行など）、年に2~3回岡山に帰り祖母の手伝い。

○やりたいことは？

ケアマネジャーとしてはまったく新米ですが、ご利用者も職員もお互いに支えあって、生活に楽しみを持てるようにしていきたいです。

編集後記



長く非常勤として活躍してくれていた職員の鈴木みゆきさんが5月をもって退職しました。ご利用者の持っている力を存分に発揮できるよう、常にアイデアを出し実行してくれる頼もしい職員でした。ボランティアとして、またこまばに来たいとのこと。その日を楽しみにしています。

そして新しい仲間が2名入職。どちらも経験豊かな素晴らしい人達です。既に何年もここで働いていたのではないかと錯覚するほど、あっという間に馴染んでいました。新体制でのスタート。皆で『見て』『聴いて』『感じて』『考えて』『行動して』…。「グループホームこまば」らしい毎日をご利用者、そしてご家族と一緒に作っていきたく思います。どうぞよろしくお願ひします。